

平成30年4月1日

日本鉄鋼連盟行動計画(第4回)

職員が仕事と子育てについてより一層の両立を図ることが出来るよう以下の対策を行う。

1. 計画期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日までの3年間

2. 内容

目標1:時差出勤制度を拡充し、勤務パターンの多様化を図る。

『勤務パターンを、2パターンから5パターンに拡充』

<対策>

平成30年5月～9月

試験運用の実施(勤務パターンを5パターンに拡充)

平成30年10月～

労働組合との意見交換、関連規定の改定(正式導入)

<検討体制>

労使連絡会 等

目標2:政府が掲げた年次有給休暇取得率の数値目標である70%を目指し、

年次有給休暇の取得促進に向けた取り組みを推進する。

<対策>

平成30年4月～

年次有給休暇の取得状況等を踏まえ、有給休暇取得率の向上に向けた実効性のある方策を労使で検討する

<検討体制>

労使連絡会 等

以上